

神子トンネルができるまで

平成23年12月 工事着手 仮設プラント等設置	平成24年4月 掘削開始 ドリルジャンボでの作業	平成24年6月 夜間掘削開始 防音扉で騒音防止	平成25年2月 貫通式 神子と小川がつながりました
覆工コンクリート打設 トンネル型枠「スライドセントル」	コンクリート舗装打設 2車線同時施工中	平成25年11月 トンネル本体完成 工期短縮・無事故で完成	平成26年6月 照明・非常用設備完成 照明は明るくエコなLED

周辺のみどころ



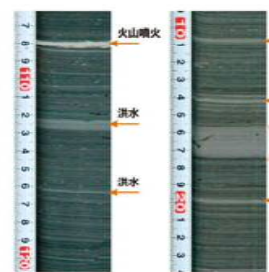
三方五湖

5つの湖は水質や水深が違い、すべて濃さの違う青色に見えることから「五色の湖」と呼ばれ、国の名勝に指定されています。車で「レインボーライン」を通って、標高約400メートルの梅丈岳(ばいじょうだけ)山頂に登ると三方五湖が一望できます。



海釣り公園みかた

常神半島小川にある「海釣り公園みかた」では、風光明媚な景観を楽しみながら釣りを満喫することができます。上級者コースとファミリーコースの2タイプがあります。



水月湖「年縞」

水月湖の湖底堆積物には、「年縞」と呼ばれる7万年分の縞模様が形成されています。2012年7月の国際会議で地質学的な時間スケールとして年縞を使うことが決まり、世界の標準時計となりました。年縞は縄文博物館にて展示されています。



海浜自然センター

豊かな海の自然を知り、自然の尊さや大切さを感じ、体験するための施設として、平成11年7月20日の「海の日」に開館しました。平成26年4月26日には「うみ(海湖)の学びと癒しの新空間」としてリニューアルオープンしました。



神子側

神子トンネル

一般県道常神三方線



小川側



事業概要

一般県道常神三方線は、若狭町常神を起点に、常神半島の西側を南進して、水月湖および三方湖の湖畔から一般国道162号を經由して若狭町三方に至る道路です。当路線は半島を縦断する唯一の道路であるため、沿線住民の生活に欠くことのできない生命線道路として重要な役割を担っています。

若狭町の神子～小川の区間は、幅員が狭いうえ、急カーブが連続しているため、通行に支障を来していました。また、これまで幾度となく斜面の崩落があり、通行止めを余儀なくされていました。

これらの課題を解消するため、平成21年度から総事業費約31億円を投じて整備を行い、常神半島集落悲願の道路が完成しました。

この道路(トンネル)の開通により、安全な交通が確保されるだけでなく、距離にすると約3km、時間にすると約10分の短縮が図られます。平成26年7月20日には、若狭さとうみハイウェイ(舞鶴若狭自動車道)が全線開通し、これらの道路の開通により、常神半島をはじめ、嶺南地域全体の観光客の増加が期待されます。

- 事業名：道路改良事業(防災・安全交付金)
- 路線名：一般県道常神三方線
- 事業箇所：三方上中郡若狭町神子～小川
- 事業主体：福井県
- 総事業費：約31億円
- 事業期間：平成21年度～平成26年度
- 供用開始日：平成26年7月6日
- 供用延長：事業区間1,200m (うちトンネル889m)
- 道路規格：第3種4級 設計速度 30km/h

現道の状況



カーブ
多い

道幅
狭い



被災状況



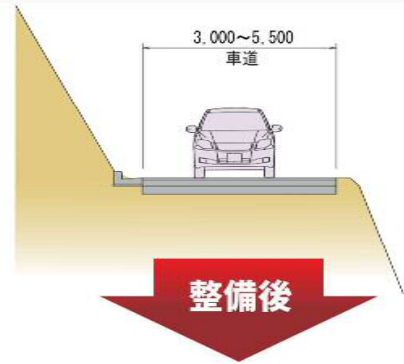
神子(H23.5.30)
16日間 通行止

迂回路
無し



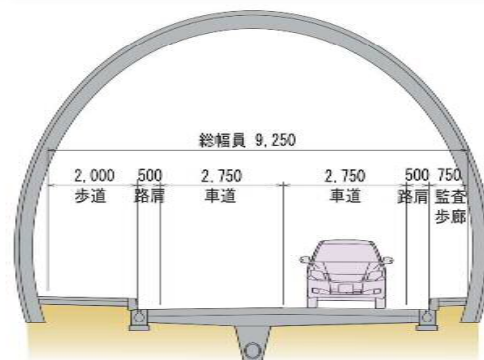
小川(H14.3.7)
23日間 通行止

現道標準断面図



整備後

トンネル標準断面図



整備効果

- 現道4.1km → 1.2km **約3km短縮!**
- 現道約12分 → 約2分 **約10分短縮!**
- 被災危険箇所の回避 **安全!**

